

令和5年度発達障害児者及び家族等支援事業について

1. 概要

事業名 : 発達障害児者及び家族等支援事業
開始年度 : 平成24年度（埼玉県は平成22年度から）
委託先 : 埼玉県自閉症協会
※ 平成30年度より要綱の改正に伴い発達障害者家族支援体制整備事業から名称変更。

【主な事業の内容】

- ①ペアレント・メンターの養成
- ②ペアレント・メンターによる交流・相談会等の実施

2. ペアレント・メンターとは

- ・「メンター」とは「信頼できる相談相手」という意味。
- ・ペアレント・メンターは、発達障害を持つ子どもを育ててきた同じ立場の保護者が、発達障害の診断を受けたばかりの子どもの保護者、発達障害児の子育ての疑問・不安を持つ保護者に対して、傾聴・共感の姿勢をもって話を聞いたり、情報提供を行うなどの支援を行う。
- ・発達障害を持つ子どもの子育てに悩む保護者たちの精神的な支えとなり、適切な機関へつなぐ役割が期待される。

令和5年度発達障害児者及び家族等支援事業について

3. ペアレントメンターによる支援の特徴

- ・同じ発達障害の子どもを育てている保護者として共感でき、相談する保護者に寄り添うことができる。
- ・書籍ではなく、経験から得た知識、ホームページには載っていない「口コミ情報」などを相談者に伝えることができる。
- ・専門家ではないため、問題を解決できるとは限らない。
- ・相談する保護者のお手本ではない。

4. ペアレント・メンターの養成

【これまでの養成者数】

- ・平成22年度～令和5年度 130人（さいたま市25人）

【養成研修（基礎講座）受講資格】

<受講資格>

- ①県内在住で発達障害の診断を受けた小学校5年生以上の子どもの保護者
- ②以下のいずれかの要件を満たし、必要書類を提出された方
 - ・所属する親の会の所属年数が2年以上
 - ・PTAの役員の経験が2年以上
 - ・子どもが特別支援学級に在籍もしくは通級指導教室利用が2年以上
- ③基礎講座の全期間に参加可能な方

- 令和5年度基礎講座修了者
6名修了（うち、さいたま市在住者1名）

令和5年度発達障害児者及び家族等支援事業について

【ペアレントメンター養成研修「基礎講座」】
Zoomを利用したオンライン形式及び対面形式で実施。
座学やロールプレイ等の研修を年間を通じて5回実施。

●令和5年度基礎講座内容

日付	内容	講師	会場・方式
7月9日(日)	・ペアレントメンター事業説明	埼玉県自閉症協会	Zoom
9月24日(日)	・公開講座 講義 「発達障害の特性 その理解と支援」	こころ発達クリニック新横浜 児童精神科医 原 郁子 氏	Zoom
10月8日(日)	・講義 「ペアレントメンターの役割」 「相談支援の基礎技術ー傾聴の技術ー」	埼玉県自閉症協会 本事業アドバイザー 臨床心理士・公認心理士 清水 景子 氏	Zoom
11月19日(日)	・講義 「相談支援の基礎技術ー様々な技法ー」 ・ロールプレイ(対面)	本事業アドバイザー 臨床心理士・公認心理士 清水 景子 氏	さいたま市浦和 コミュニティセン ター
12月17日(日)AM	・講義 「相談支援の実践ーロールプレイ演習ー」 ・ロールプレイ(対面)	本事業アドバイザー 臨床心理士・公認心理士 清水 景子 氏	埼玉県発達障害総合 支援センター研修室
12月17日(日)PM	・「生活図」「グループワーク演習」 ・修了式	埼玉県自閉症協会	

【ペアレントメンター養成研修「フォローアップ講座」】
今年度は全てZoomを利用したオンライン形式で実施。座学やロールプレイ等の研修を年間を通じて5回実施。

令和5年度発達障害児者及び家族等支援事業について

5. ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座（交流・相談事業）

・ペアレント・メンターの実体験をもとにお話したり、悩みごとの共有を行う発達障害オンライン講座をテーマ別に 計9回開催。

・このうち、対面での実施1回、Zoomを利用したオンライン形式で実施8回。

・従来どおり、総合療育センターひまわり学園や療育センターさくら草等からの紹介のほか、周知チラシを保育園、幼稚園、学校、放課後デイサービス等各所に配布。

また、オンライン上での周知として、さいたま市及び埼玉県自閉症協会のホームページやさいたま市広報課のTwitter で記事を掲載した。

令和5年度発達障害児者及び家族等支援事業について

ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座

テーマ・内容	話題提供 ＋質疑応答		交流会	
	開催日	参加人数	開催日	参加人数
「発達障害って何だろう？」	7/4（火）	6人	－	－
「コミュニケーション」	9/7（木）	13人	9/21（木）	4人
「こだわり」	11/2（木）	11人	11/16（木）	6人
「多動・衝動・不注意／サポート手帳・潤いファイル」	12/4（月）	12人	－	－
「家庭でできる支援」	1/12（金）	12人	－	－
「新しい生活を前に」	2/5（月）	13人	2/19（月）	8人
合計参加人数	85人			

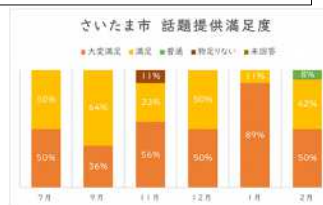
- 「話題提供＋質疑応答」
→テーマに合わせたペアレントメンターからの経験談、参加者からの質問対応
- 「交流会」
→小グループでの悩みごと共有

※話題提供＋質疑応答は、埼玉県と合同開催

令和5年度発達障害児者及び家族等支援事業について

ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座 参加者アンケート

話題提供＋質疑応答（全6回の集計値）



交流会（全3回の集計値）



■参加者からの感想■

- ・こだわりのある子供と接しているとどうしてもイライラすることがあり、そんな自分を責めて子供にも申し訳なさ一杯でした。メンターさんも同じ経験をされていて、私だけではないんだな、と少し安心しました。自閉症の特性を知識として知っていても、実際に自閉症児の子育てされた方の経験を聞く機会が減多にないので、有り難い機会でした。
- ・潤いファイルについて少し聞いたことがあったが、何となく就学期間までに入手すれば良いと思っていたが、すぐ活用できるものだわかったので早めに行こうと思った。
- ・災害時に困らないように事前にやってみておく事なども具体的で参考になりました。
- ・気になっていた就学時の話が知れたので、良かったです。子供の特性を把握した上で相手にわかりやすく伝えること、大事だなと思いました。

■参加者からの感想■

- ・他のお母さんのお話も聞けて、同じ悩みを抱えているのは自分だけじゃないと安心しました。また、メンターさんの経験談も聞くことができ、解決の糸口も見えた気がします。
- ・今日参加してみて、自分が欲しかったのは共感だったんだなと思いました。
- ・同じような子を育てた経験のある方が話を聞いてアドバイスして頂けた事が、身近に感じられとても心強く安心感がありました。
- ・共感や寄り添った温かい言葉に涙が溢れてしまいました。自分の内側に孤独感や不安が蓄積している事に気付く事ができました。
- ・普段の生活では、発達障害の子を持つ親御さんに会う機会がないので、自分の不安に思っていることをメンターの方々に聞けて、とても参考になったり、励まされたりしました。